

幕末の動乱と松平忠誠

文久3年(1863)4月、忍藩主松平忠国は家督を養子の忠誠譲りました。忠国はそれまで跡継ぎとして2人の養子を迎えたのですが、一人は離縁、もう一人は死去しており、忠誠は3人目の養子となります。忠誠の実家は下野国烏山藩主大久保家ですが、松平家との血縁関係はなく、強いて上げれば江戸の下屋敷が近所なので、養子を探していた松平家の目に止まったのかもしれません。

文久3年は幕末の動乱が一旦に加速した年です。將軍徳川家茂が將軍としては229年ぶりに上洛し孝明天皇に拝謁し、八月十八日の政変で急進的な攘夷派の公家と長州藩が京都から追放されました。そのような中、松平忠誠は幕府から將軍上洛の謝礼を述べること、京都警備のため上洛を命じられました。この上洛の編成を記録したものが「上洛供奉行列之次第」です。

上洛の命令が出たのが8月で、出発が9月2日ですから、準備期間が短く大急ぎでの出発となりました。この時忠誠に従ったのは、家老の山田大隅と山田此面をはじめ、御用人や



上洛供奉行列之次第 (行田市郷土博物館蔵)

御小姓頭ら忠誠の側近くに仕える者、馬廻や御徒ら軍事部門を担当する番方と呼ばれる家臣たち、さらには医者や右筆、儒者、料理人、奥坊主まで入れて総勢350人程となっています。持参する武器や道具類ですが、鉄砲が67挺もあり、上洛の目的が警備であったことが分かります。京都までの行程は15泊16日でした。写真には忠誠の乗った駕籠の周囲の様子を描いたものです。周りを馬廻26人と御小姓11人らが取り囲み、その外側には左右それぞれ鉄砲10挺ずつが配されています。忠誠は12月28日に孝明天皇に拝謁し、翌年の3月に江戸に戻りました。忠誠はこのうち慶応2年、3年と計3度上洛し、慶応4年3月には病床の中、新政府軍の忍城入城に対応しました。明治2年6月に亡くなりますが、藩主在任中は幕末の動乱に翻弄され続けたのです。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして



令和3年10月生まれのお子さんを募集します

- 8月1日(月)～31日(水)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、9月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和3年8月生まれのおともだち



小島 望凛愛ちゃん(長野)  
令和3年8月2日生まれ  
父・弘樹さん 母・智代さん  
「1歳おめでとう☆  
大好き♡」



木元 葵ちゃん(下須戸)  
令和3年8月13日生まれ  
父・学さん 母・舞さん  
「その名の如く誠実であれ。」



小島 椰ちゃん(北河原)  
令和3年8月15日生まれ  
父・瞬さん 母・ひとみさん  
「椰のおかげでみんな笑顔になるよ  
ありがとう♡」



菊地 陽葵ちゃん(持田)  
令和3年8月30日生まれ  
父・孝文さん 母・愛さん  
「生まれてきてくれてありがとう。これから  
わたさんの幸せがありますように。」



久保 秋りたちゃん(若小玉)  
令和3年8月30日生まれ  
父・祥平さん 母・佳苗さん  
「生まれてきてくれて  
ありがとう♡」



山口 結風ちゃん(城西)  
令和3年8月4日生まれ  
父・未来さん 母・里美さん  
「元気にすくすく育つてね!  
いつも笑顔をありがとう♡」

編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課  
〒361-1860 行田市本丸2番5号  
TEL 556-1111 FAX 550-2116

今月の表紙

年々、全国的に空き家が増加しており、その管理不全により周囲の景観や地域の生活環境に悪影響を及ぼしています。空き家の取得した理由の約50パーセントが相続によるものです。今から家族などと一緒に空き家について考えてみましょう。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい  
植物油インキ

市報ぎょうだは  
再生紙を  
使用しています

行田市のマイナンバーカード交付率37.1% (7月1日現在)

詳細は総務部ホームページ